

土木学会論文集改革

土木学会論文集編集委員会 部門B編集調整幹事 大石

土木学会論文集の改革

- * 英文化：海外に対する日本土木会の存在
- * 再編：調査研究部会（水工学委員会）
- * 電子化：赤字対策

土木学会論文集の改革

- * 英語論文集：出版編集委員会が出版権
 - * 2012年1月発行
- * 日本語論文集：各調査研究委委員会が出版権
 - * 2011年1月開始 2013年1月全論文集完了

日本語論文集（水工学委員会）

- * 年間4回の雑誌を発行
- * 通常号：土木学会論文集B1（水工学）Vol.B1-67,
No.2
- * 2月, 5月, 11月
- * 特集号：土木学会論文集B1（水工学）Vol.B1-67,
No.3 水工学論文集第54巻
- * 8月（CD-ROMは講演会にあわせて販売）

日本語論文集（水工学委員会）

- * 新体制（敬称略）
- * 寶馨委員長（水文）
- * 戸田祐嗣幹事長，田島芳満（海岸，東大）幹事
- * 中津川誠，浅沼順（水文），宮本仁志，竹林洋史
- * 由比政年（金沢大学，海岸）
- * 織田幸伸（大成建設，海洋開発）

日本語論文集（編集調整）

関根正人 早稲田大学 水工学幹事長

田中昌宏 鹿島建設 水工学論文幹事長

青木伸一 豊橋技術科学大学 海岸工学

渡部靖憲 北海道大学 海岸工学

水谷法美 名古屋大学 海洋開発

武田将英 東亜建設工業 海洋開発

英語論文集

- * 委員長は飯塚敦（神戸大学）先生 地盤
- * JHHE→新英文論文集の体制
- * インパクトファクターか、「英語情報の公開」か

英語情報の公開

- * 水工学論文集などからselectされた論文を中心
- * オリジナルな論文が日本語にある場合IFが付かない
- * トムソン・ロイター型は難
- * 論文毎の被引用回数（Google Scholar型）を目指す？